

# 小学校から大学まで教育連携



協定書に署名する（手前から）半田東高校の松田昌浩校長、半田市教育委員会の加来正晴教育長、日本福祉大学の児玉善郎学長＝半田市役所

## 半田市教委×半田東高×日本福祉大

小中学校を担う半田市教育委員会と、半田東高校、日本福祉大学（美浜町）が19日、教育連携・交流協定を結んだ。小学校から大学までが連携して、児童、生徒、学生、教員らの相互交流を深めて地域の教育力向上を目指す試みだ。こうした協定は全国的にも珍しいという。

### コース新設を機に

半田東高には今春、豊橋南高とともに県立高初の教育コースができる。教職を目指す子どもを受け入れ、「地域」「世界」「未来」を意識した教育を目指し、2年生では授業の一環として豪州の教育現場の視察もあるという。連携は教育コース新設を機に同高が呼びかけた。

協定では、市内の小中学校で教育コースの生徒の体験実習を受け入れたり、同高が生徒を小中学校や地域の行事に派遣したりする。小中学生や教員との交流活動にも力を入れる。

また、大学側も教員を目指す学校教育専修がある子ども発達学部を中心に、小中学校の教員支援や学生ボ

## 教職体験実習・出前講座…協定結ぶ

ランテアの派遣、半田東高への出前講座などを計画。同高は学生インターンシップも受け入れる。

### 「半田で子育てを」

同高の松田昌浩校長は「教職を目指す生徒たちが、今度は職業としての小中学校の先生の背中を見せてもらえる。子どもたちが地域に愛されて自立していくシステムの一助になれば」と期待する。

日本福祉大の児玉善郎学長は「子どもが減るなかで、小学校から大学まで連続して相互に連携し、地域社会の一員としてしっかりと役割を担う人に育てたい」。市教委の加来正晴教育長は「将来への夢や目標を持つ生き方教育に力を入れていくが、義務教育だけではできない。協定によって、さらに強固になると楽しみに」と述べた。

今後、地元企業との連携も目指す方針。神原純夫市長は「産学官が連携して、いろんなことに携わる基盤作りをすることで、半田で子育てをしたいという人が増えると思う。ほかの分野にも広げたい」と話した。

（豊平森）